

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月1日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (2/1 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	15.0 °C	0.89 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m ³ /h	19.8 °C	4.90 kPa g	A系： 0.01 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	18.0 °C	0.24 kPa g	A系： —* vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： —* vol%

※作業に伴いデータ欠測

・2016/2/1 2月分の原子炉の冷却に必要な注水量について、1号機 1.1m³/h、2号機 1.4m³/h、3号機 1.4m³/hと定め、運用を開始。

・2号機および3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、当該設備の信頼性向上を目的に、配管の一部に使用しているフレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を行うこととしている。必要に応じて設備の停止となるため、停止中は特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第24条の表24-1に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器が1チャンネル動作可能であること」を満足しない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行して作業を実施する。

2016/2/1 9:30 3号機原子炉格納容器ガス管理設備について、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、フレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を開始。

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (2/1 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.2 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	17.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	6.8 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/1 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体作業を開始。

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- ・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/21]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/29 9:59 海洋への排水を開始。その後、同日 16:10 に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は 886m³。
- ・一時貯水タンクAの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/22]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/30 9:53 より海洋への排水を開始。その後、同日 15:52 に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は 858m³。
- ・一時貯水タンクBの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/23]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/31 9:55 より海洋への排水を開始。その後、同日 14:18 に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は 628m³。
- ・一時貯水タンクCの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/25]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、2/1 9:58 より海洋への排水を開始。

【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

- ・一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析の結果[採取日 1/21]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・今回の分析結果(採取日 1/31)については、悪天候により採取を中止。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない(悪天候のため一部採取中止)。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない(悪天候のため一部採取中止)。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上